

<一般委託>

倉重光則+天野純治展 会場施工業務委託(一般委託)仕様書

倉重光則+天野純治展 会場施工業務委託に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	「倉重光則+天野純治展」[会期:令和2年11月14日(土)~12月25日(金)]での作品展示のための会場を設営するとともに、会場誘導のための案内、展覧会告知の看板などを制作、設置を行う。展覧会終了後の撤去業務を含む。
2	履行期間	契約日から令和3年1月6日(水)まで
3	施行場所	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館
4	業務内容	別紙のとおり
5	特記事項	作業に必要な用具類を持参すること。 作業で発生した残材等の不用品は、請負側の責任において搬出し、処理すること。また作業終了後は、後片付けおよび清掃を行うこと。 作業時間は原則として各日とも9:30~17:30とするが、開館時間外に行なう業務が含まれる(別紙仕様書を参照)。 設置・設営位置などの詳細は担当者と打ち合わせの上、決定する。
6	資格要件	本業務履行については、下記の資格を有すること。 平成27年4月1日以降に、公立であるか私立であるかを問わず美術館との契約において元請けとして、会場面積600平方メートル以上の美術展の会場施工業務契約を締結し、完了した実績があること。この実績を証明するため、当該契約書及び仕様書の写し(当該履行内容を記載した箇所)、並びに会場面積を確認できる図面等の資料を入札参加申請書提出期間内にファクスで送信すること(FAX046-828-3839)。送信しない場合は、入札に参加できない。
7	契約方法	総価による業務委託契約(一般委託)
8	支払方法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
9	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
10	監督員 連絡先	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館 担当:栗林 Tel046-845-1212/Fax046-845-1216

<指示又は希望事項>

グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係	<p>・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照)</p> <p>・本市は、独自の環境マネジメントシステム(YES)により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いいたします。</p>
----------------------------------	---

倉重光則+天野純治展 会場施工業務委託仕様書

- 1 件名 倉重光則+天野純治展 会場施工業務委託
- 2 場所 横須賀美術館
- 3 会期 令和2年11月14日(土)～12月25日(金)
- 4 作業日程 施工(業務1、2) 令和2年11月3日(火・祝)の18時以降または4日(水)9時半まで
 撤去・設営・補修・廃棄(業務3～5) 令和2年11月6日(金)～11月10日(火)まで
 施工・納品(業務5～11) 令和2年11月10日(火)まで
 手配(業務12) 令和2年11月11日(水)～13日(金)のうち1日
 撤去・設営・補修・廃棄(業務13～17) 令和2年12月26日(土)～令和3年1月6日(水)
 ※いずれも原則として、9時～17時までを作業時間とする。ただし、作業が時間外となる場合は、その費用を見込むこと。
 ※年末年始休館: 令和2年12月29日(火)～令和3年1月3日(日)
- 5 業務内容

(寸法はすべてmm表示) 数量

1 屋内看板

1枚

寸法	t10mm、貼付範囲H1000×W2500(展覧会名、会期情報など30文字程度)の切り文字
仕様	エントランスホールの壁に切り文字を貼る。 原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起こし、校正は3回行う)。 色は指定色あり。 会期終了後は撤去し、壁の損傷(ピン穴、接着剤など)について補修を行うこと。

2 入口バナー

1枚

寸法	H700×W2400
仕様	展覧会名と入口を指示するバナーを制作し、美術館正面入口外の庇部分に掲示する。 原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起こし、校正は3回行う)。 屋外用シートの両面にインクジェット出力(4色)。会期中風雨や日光によって変質しないこと。 上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持および取り付けのための既存の角パイプ(20×20)を通せるようにする。 ロープ、結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。(別紙参照)
設営場所	美術館正面入口外の庇部分

3 仮設壁の撤去

寸法	①H3000×W7000×D500(展示室1) ②H3600×W9100×D500(展示室2) ③H3600×W5500×D500(展示室2) ④H3600×W3000×D500(展示室2) ⑤H3000×W9200×D500(展示室3)
仕様	展示室1・2・3の全壁面(仮設壁含む)の穴をパテ埋した後、①～⑤の仮設壁を撤去する。なお④はすべて木骨骨組。備品以外の資材は撤去後、廃棄すること。 美術館備品の鉄骨骨組みおよび木製パネルの解体方法について不明の場合は、事前に担当者から十分な説明を受けること。
設営場所	展示室1・2・3 別紙2 仮設壁図面参照

4 仮設壁の設営

寸法	⑥H3600×W6300×D500(展示室2) ⑦H3600×W6620×D500(展示室2)
仕様	⑥は、骨組みをすべて木骨で制作し、美術館備品の木製パネル(H3000×W900)を使用し、木板を継いで指定の高さにすること。ウエイトとワイヤーで倒れ止めを施すこと。⑦は美術館備品の鉄骨骨組と木製パネル(H3000×W900)を使用し、木板を継いで指定の高さにすること。特に指定がない場合、既存壁との接合部分やパネルの継ぎ目が目立たないように、寒冷紗を貼付し、パテ調整、水性塗料を二度塗りする。使用する塗料は白色(日本塗装N-95[日本ペイント・N-60・エコフラット・ツヤ消し])とする。作業を効率化するため、施工時まで事前に事前採寸を行い、部材を用意しておくこと。
設営場所	展示室2 別紙2 仮設壁図面参照

5 壁の補修

1式

仕様	前展覧会の作品を撤去した後、穴、汚れなど目立たなくなるよう補修を行う。必要に応じてパテ埋めを行ったうえで塗装すること。該当箇所は約100箇所。補修する箇所は、基本的にクギ穴等が生じた部分であるが、展示期間中に発生した汚れ等も含む。使用する塗料は日本塗装N-95(日本ペイント・N-60・エコフラット・ツヤ消し)とする。
場所	展示室1・2・3、ギャラリー1・2

6 切り文字

2ヶ所

寸法	H350×W900×2ヶ所
仕様	カットシートを使い、テキストを直接壁面に貼る。会期中剥離しないような粘着力を保つこと。 会期終了後に剥離した際、破損した壁面を修復すること。貼り付けは、11月13日(金)を予定 色は指定色あり。テキストはデータ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

7 あいさつパネル(和・英)

2枚

寸法	H900×W600
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

8 作家解説・略歴パネル

4枚

寸法	H900×W600以内
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

9 解説キャプション

8枚

寸法	H515×W360以内
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

10 作品キャプション

寸法	H150×W210	35枚
仕様	スチレンボードにインクジェット出力（1色）。 データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。	

11 屋外設置用キャプション

寸法	H300×W400	1枚
仕様	屋外用シートにインクジェット出力（4色）したものを、アルミ複合板（t5mm）に貼付する。 耐水性を持たせること。屋外の構造物に結束するため、必要な箇所の小穴をうがつこと。 原稿は美術館よりテキストデータで提供する。レイアウトデザインを起こし、校正を3回行う。	

12 電気工事士の手配

仕様	令和2年11月11日（水）～13日（金）のうち1日、作家の指示に従い、電気配線を行う電気工事士を手配すること。
----	---

13 看板類の撤去

内容	業務1、2で設置した屋内看板、入口バナーを撤去する	1式
仕様	令和2年12月25日（金）18時以降から令和3年1月5日（火）9時半まで 撤去後の壁面は、接着剤汚れ、ピン穴などが見られないように補修すること。	

14 物品、製作物の撤去、廃棄

仕様	業務7～11、13 で調達、設置した物品を撤去し、製作した製作物を持ち帰り廃棄する。	1式
----	--	----

15 仮設壁の撤去

寸法	⑥H3600×W6620×D500（展示室2） ⑦H3600×W6620×D500（展示室2）	1式
仕様	⑥、⑦の仮設壁を撤去する。仮設壁撤去で美術館備品以外の部材は廃棄すること。 美術館備品の鉄骨骨組みおよび木製パネルの解体方法について不明の場合は、事前に担当者から十分な説明を受けること。※12月28日（月）より作業可	
設営場所	展示室1・2・3 別紙2 仮設壁図面参照	

16 仮設壁の設営

寸法	①H3000×W7000×D500（展示室1） ②H3600×W9100×D500（展示室2） ③H3600×W5500×D500（展示室2） ④H3600×W3000×D500（展示室2） ⑤H3000×W9200×D500（展示室3）	1式
仕様	④は、骨組みを木骨で制作。美術館備品の木製パネル（H3000×W900）を使用し、木板を継いで指定の高さにすること。①、②、③、⑤は美術館備品の鉄骨骨組みを利用し、木製パネル（H3000×W900）を使用し、木板を継いで指定の高さにすること。特に指定がない場合、既存壁との接合部分やパネルの継ぎ目が目立たないように、寒冷紗を貼付し、パテ調整、水性塗料を二度塗りする。使用する塗料は白色（日本塗装N-95[日本ペイント・N-60・エコフラット・ツヤ消し]）とする。作業を効率化するため、施工時までに事前採寸を行い、部材を用意しておくこと。※12月28日（月）より作業可。	
設営場所	展示室1・2・3 別紙2 仮設壁図面参照	

17 壁の補修

仕様	作品を撤去した後の、穴、汚れなどが目立たなくなるよう補修を行う。必要に応じてパテ埋めを行ったうえで塗装すること。該当箇所は約100箇所。補修する箇所は、基本的にクギ穴等が生じた部分であるが、展示期間中に発生した汚れ等も含む。使用する塗料は日本塗装N-95（日本ペイント・N-60・エコフラット・ツヤ消し）とする。	1式
場所	展示室1・2・3、ギャラリー1・2	

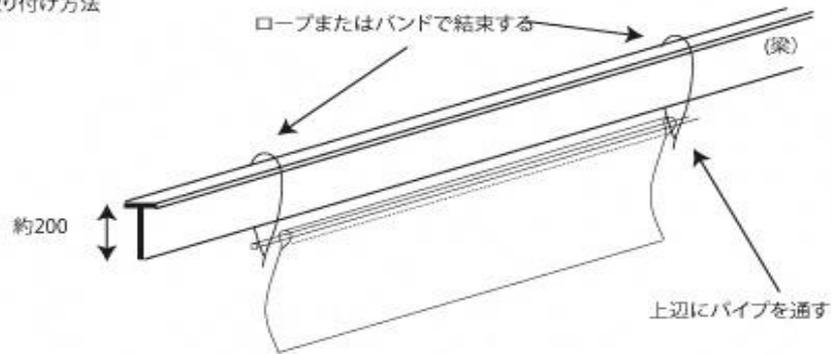
18 その他

<p>(1) 造作物などに関しては、改善点などある場合は提案し、施工図を提出の上、提案担当者との協議の後製作すること。</p> <p>(2) 展示工作作業監督者（責任者）を指名し作業期間中は作業場所に常駐させること。</p> <p>(3) 作業の範囲は、該当する箇所の造作物の制作、設置と撤去とする。</p> <p>(4) 作業に必要な機械、工具およびワイヤー、養生テープなど資材は全て持参し、搬入すること。</p> <p>(5) 作業期間中は、指定場所以外における火気の使用を禁止する。</p> <p>(6) 検査をおこなう時は、当該検査に立会い、不備な箇所は直ちに手直しを行うこと。</p> <p>(7) 作業に発生した残材等の不要品は、請負側の責任において搬出すること。また、前回展覧会で設営した壁を撤去する際に発生した残材等についても、搬出すること。</p> <p>(8) 作業終了後は、後片付け及び清掃を行うこと。</p> <p>(9) 接着剤は環境対応型のものを使用すること。</p> <p>(10) 現地確認希望の場合は、美術館運営課にFAXで申し込むこと。</p> <p>(11) その他不明な点は、当館担当者の指示によるものとする。</p>

別紙1 入口バナー

- ・バナーを製作し、美術館正面入口外の底部分に設置する。
- ・上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持および取り付けのための角パイプ(20×20、支給)を通すこと。
- ・結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。

取り付け方法



取り付けイメージ



別紙2 仮設壁図面

